株式会社日本人事総研 <JIP コンプライアンスセミナー>



【第3回】 コンプライアンスで重要な 「誠実さ」とは?

2024年10月

ハイテクノロジーコミュニケーションズ株式会社 天野 正博

© High Technology Communications, Inc. All Rights Reserved.



コンプライアンス、全力支援

HTC(ハイテクノロジーコミュニケーションズ株式会社)は、「コンプライアンス、全力支援」のスローガンで、従業員の意識と行動を変えるコンプライアンス推進活動を支援します。従業員の視点にこだわり、わかりやすく、親しみやすいコンプライアンスツールを企画・制作しています。

年間サポート

情報サイト



契約社数:1200社以上

全4回のセミナーについて

【第1回】2024年6月

コンプライアンスとは?

【第2回】2024年8月

中小企業で発生するコンプライアンス問題

【第3回】2024年10月

コンプライアンスで重要な「誠実さ」とは?

【第4回】2024年12月

VUCAの時代に求められるコンプライアンス

全4回のセミナーについて

【第1回】2024年6月

コンプライアンスとは?

【第2回】2024年8月

中小企業で発生するコンプライアンス問題

【第3回】2024年10月

コンプライアンスで重要な「誠実さ」とは?

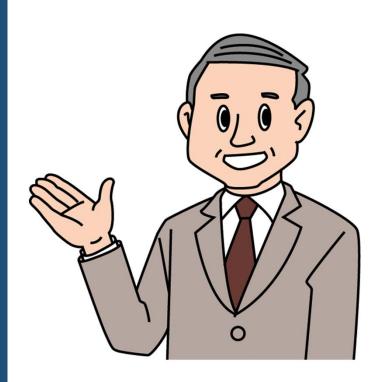
【第4回】2024年12月

VUCAの時代に求められるコンプライアンス

- コンプライアンスとは何か? 中小企業で発生するコンプライアンス問題
 第1回、第2回のおさらい)
- 2. 「誠実さ」で達成するコンプライアンス推進

1. コンプライアンスとは何か?

中小企業で発生する コンプライアンス問題 (第1回、第2回のおさらい)

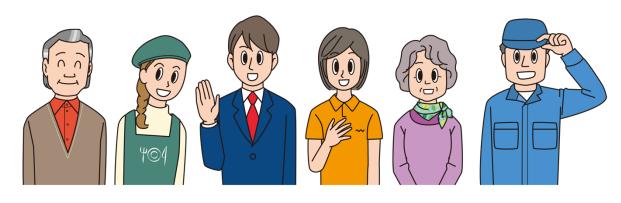


コンプライアンス = 社会の要請に応えること

過去(20年ほど前)には、コンプライアンスは「法令順守のこと」という考えが一般的でしたが、現在は多くの企業が社会の要請に応えることと考えています。



社会(ステークホルダー)の 要請にバランス良く応えることが、 企業には求められます。



コンプライアンスは企業運営に必要なもの

自社やサプライチェーンでコンプライアンス違反が起きると、企業は大きなダメージを受ける。たった一度のコンプライアンス違反であっても、失った信用を取り戻すには、長い年月が必要。



中小企業で発生しやすいコンプライアンス問題

コンプライアンス上の問題として、中小企業で発生しやすいもので、かつ影響が大きいものは、次の3つです。

- ①ハラスメント問題
- 2 労務問題
- ③情報漏えい
- ※ 食品の産地偽装など、発生頻度は 少ないものの、影響が甚大なもの は省きます。



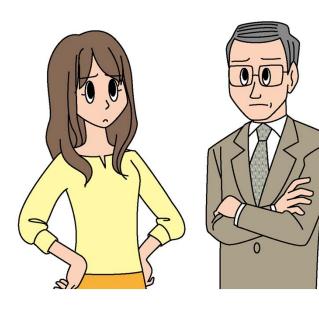
コンプライアンス違反が発生すると

例えば、ハラスメントの発生や長時間労働などの問題を 放置すると、メンタル不調者や休職者が発生します。

人的余裕の無い中小企業では、会社の成長が阻害されることや、事業計画の変更を余儀なくされる場合がありま

す。





コンプライアンス違反が発生すると

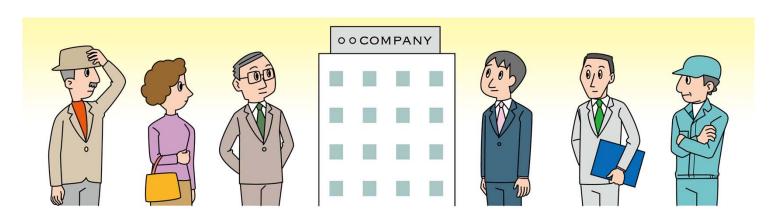
例えば、情報管理が疎かで、情報を漏えいしてしまうと、 ステークホルダーの信用を失ってしまいます。

また、その事実がインターネット上で残り続け(デジタルタトゥー)、求職者に悪い印象を与えてしまうおそれもあります。



1章のまとめ

- ・コンプライアンスとは、社会(ステークホルダー)の要請に応えること
- 信用は積み重ねていくもの。たった一つのコンプライアンス違反で、信用は崩れてしまう
- ・中小企業でコンプライアンス違反が発生すると、会社の成長が阻害され、事業計画に悪影響がある



2. 「誠実さ」で推進する
コンプライアンス



「誠実さ」とは①

「誠実さ(Integrity)」とは、会社、お客さま、社会のために、どうすることが最善かを考え、行動することです。一方、「誠実さ」に反するとは、これらに無関心になる、自分の損得を優先することです。



「誠実さ」とは②

誠実さとは、たとえ誰にも見られていなくも正直に振る舞うことを指します。誠実な人は、人生のあらゆる場面で道徳や倫理に関する規範に従います。また、誠実さは

業務上の意思決定や同僚とのコミュニケーション、顧客やクライアントへのサービスの提供など、仕事の場面でも発揮すべき資質です。
(indeedキャリアガイド)



誠実な言動の具体例

法令、社内規程、業務手順等を順守する

モラルやマナーを意識して行動する

決められたことを、しっかりと行う (適正な業務遂行)

公正・透明性を保つ

約束を守る・嘘をつかない

自分の言動に責任を持つ

接するすべての人の権利を尊重する

ステークホルダーの信用・信頼を失わせるような発言や行動をしない



『誠実さ』は、企業としての社会的役割を果たすために自らの意志で 決める任意の基準です。(守らなかったからといって、罰せられること はありません)

※『誠実さ』はコンプライアンスや、CSR(企業の社会的責任)の基盤となる考えであるといえます。

CASE 納品物の不具合を指摘されたが…

営業部のAさんは、お客さまからのメールで、納品した製品の一部に軽微な傷があることを知りました。あまり目立たない傷だったようで、メールには、「このまま納品でOKです」と書かれていました。Aさんは、お礼の返信メールを送れば、それで問題ないと思っています。



Q1

「誠実さ」に照らし合わせて考えてみましょう。 Aさんはどうするべきだと思いますか?



上司に報告し、今後の対応を相談するべきです。

「誠実さ」に照らして考えた場合

- お客さまに迷惑をかけてしまったので、会社として対応を考えなくてはならない
- 今後、同様のミスが起こらないよう社内で共有しなくてはならない

結果

- 「ミスはあったが、その後の対応がしっかりしていた」として、お客さまとの 信頼関係が築ける
- 製作物のチェック工程が改善され、品質向上に繋がる
- 一方、自分の損得を優先した行動(不誠実な行動)とは…
- ・ 不具合の事実を無かったことにしたい、大げさにしたくない。
- ・ 叱責されたり、仕事が増えたりすると困るので、上司に報告しない

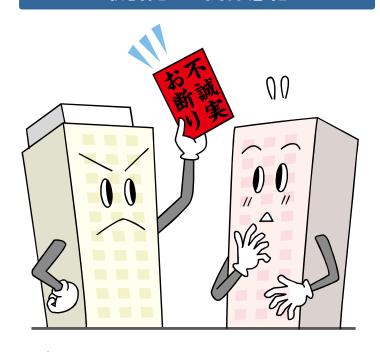
Q2

企業活動において 『誠実さ』が欠けていた場合、 お客様、取引先との関係は どうなってしまいますか?



次のような関係になることが考えられます

取引先との関係悪化



企業イメージの低下





取引停止や、企業イメージの低下などにより、業績の悪化や事業規模の縮小などにつながるおそれもあります。

Q3

では、『誠実さ』を持って 企業活動を行うことで、 会社や従業員に、 どのような未来がありますか?



次のような未来が考えられます

「誠実な企業」として社会から必要とされる企業になる



自分の仕事に誇りが持て、 ____ 働く意欲がわく





誠実な活動を続ける企業は、中長期的に見て、市場で高い競争力を持ち、社会から必要とされる企業へと成長することができるでしょう。

2章のまとめ

- ・「誠実さ(Integrity)」とは、会社、 お客さま、社会のために、どうすること が最善かを考え、行動すること。また、 仕事の場面でも発揮すべき資質のこと。
- 「誠実か」の観点で物事を考えると、 コンプライアンス違反につながる誤った 判断を避けられる。
- ・「誠実さ」は、コンプライアンスに 必要であり、企業の健全な成長に 欠かせないもの。



ご視聴いただき、ありがとうございました。

本日の内容は、先生方の顧問先企業からのコンプライアンス 相談や、顧問先企業へのコンプライアンスのアドバイスに お役立ていただければ幸甚です。

